

大正十三年二月

最近<sup>ニ</sup>於<sup>ケル</sup>勞働辰運動<sup>ノ</sup>概況

朝鮮總督府警務局

最近ニ於ケル勞農運動ノ概況

鮮内ニ於ケル社會主義的思想ハ從來一部青年ノ  
間ニ研究セラレツツアリシカ特ニ主義的團體ト  
シテ表面ニ現ハルルニ至リシハ極メテ最近ノコ  
トニ屬ス大正九年二月勞農共濟會同十二月朝鮮  
青年聯合會翌十年一月ソウル青年會等ノ團體  
成立シ共濟會ハ元内地留學生朴珥圭等ニ依リテ  
勞働社會ノ改善ヲ標榜シ他ノ二團體ハ東亞日報  
記者張德秀吳祥根及金明植等ニ依リ青年ノ團結  
ヲ目的トシテ組織セラレタルモノナルカ何レモ  
内面ニ於テハ幾分思想問題ニ觸ルル所アリシモ  
未タ研究時代ニ屬シ社會主義的運動トシテ認ム



ルニ足ラス然ルニ大正十一年ノ初頭ニ至リ無産者同志會(主腦者元内地留學生 金燦魯、金翰)新人同盟會(主腦者元内地留學生 張炳天、李英)及新生活社(主腦者元東亞日報記者 金明植)等ノ思想團體ノ成立ヲ見ルニ至リ前二者ハ社會主義的思想ヲ鼓吹シテ無産青年ノ糾合ヲ圖リ後者ハ機關雜誌新生活ヲ發行シテ共產主義ヲ宣傳セムトセリ(大正十一年日發行禁止スルト共發行責任者ヲ司法處分ニ附ス)而シテ當時又朝鮮青年聯合會幹部張德秀、金明植等ノ露國共產黨ヨリ宣傳費ヲ受ケ居レリトノ一部ノ世評アル等漸ク主義的思想宣傳ノ第一歩ニ入レルヤノ觀アリタリ越ヘテ大正十二年三月ソウル青年會ノ一部ハ露國共產黨ヨリ宣傳費ヲ得ムカ爲全鮮唯一ノ主義的團體タル

コトヲ社會ニ承認セシムルノ必要ニ迫ラレ先ツ大正十二年三月全鮮青年黨大會ナルモノヲ京城ニ開催シ教育、産業、労働問題等ニ関シ共產主義ヲ鼓吹スルカ如キ決議ヲ爲シ(當時治安ヲ害スルモノトシテ集會ヲ禁止セリ)一面又在東京無政府主義者朴烈等ノ組織ニ成ル黒壽會ヨリ分離セル北星會(金若水)ハ鮮内ニ勢力ヲ扶殖スル目的ヲ以テ大正十二年八月巡回講演團ヲ組織シ鮮内各地ヲ巡講スル等十二年ニ入リテ主義的運動ハ實際化スルニ至レリ於茲乎ソウル青年會及北星會ノ兩派ハ互ニ勢力ヲ爭ヒツツアリシカ恰モ同十月京城ニ於テ開催ノ副業品共進會ニ際シ國際共產黨ヨリ鮮内宣

傳費ヲ支出スヘシトノ説流布セラレタルヨリソ  
ウル青年會及北星會ノ兩派ハ互ニ鮮内唯一ノ左  
傾團體タルコトヲ示シテ其ノ宣傳費ヲ自救ノ手  
中ニ收ムヘク茲ニ兩派ノ抗爭漸ク露骨トナルニ  
至レリ斯クテ京城ニ於ケル各種ノ思想労働團體  
モ亦自然兩派ニ分レ朝鮮労働共濟會及北星會ヨ  
リ分離シタル一部ノ者ハソウル青年會側ニ馳セ  
朝鮮労働聯盟會無産同盟會土曜會及新思想研究  
會ハ北星會側ニ属シタルカ北星會派ハ地方團體  
光州労働共濟會及晋州労働共濟會ト共ニ主催團  
体トナリテ副業品共進會々期中各道ヨリ入京ス  
ル者ニ對シ大々的ニ宣傳ヲ為スヘク九月十四日

朝鮮労働總同盟會ヲ創立シ事務所ヲ京城府堅志  
洞八十八番地ニ設置セリ一方ソウル青年會派ニ  
於テ之ニ對抗シ朝鮮労働大會準備會ナルモノ  
ヲ發起シ朝鮮労働大會宣言書ナル不穩文書ヲ印  
刷ニ附シ之ヲ頒布セムトシタルニ依リ主謀者張  
赤波外三名ヲ檢舉シ一面總同盟會側ニ對シテハ  
諭示中止ヲ命シタルヲ以テ茲ニ兩派ノ運動ハ一  
時中絶スルニ至レリ  
然ルニソウル青年會派ハ十一月初旬更ニ労働大  
會ノ再起ヲ企テ同準備會事務所ヲ府内雲泥洞一  
番地ニ設ケ宣言及決議事項ヲ廣ク各地ニ配  
布スルト共ニ會員ヲ南鮮方面ニ簡派シ大會開催

ノ主催團體募集ニ着手セリ之ニ對シ反對派タル  
北星會系ニ朝鮮勞農總同盟會ヲ復活シ準備會ヲ  
設ケテ對抗シ朝鮮地方ノ同志ト氣脈ヲ通シ總同  
盟會發起團體募集ノ傍ラ特ニ會員ヲ派シ勞農大  
會側ノ運動切崩シニ着手シ兩派互ニ反對運動ヲ  
試ミツツアリタルカ勞農大會側ハ別紙第一號ノ  
如ク加盟團體四十二ヶ團體ニ達シタルヲ以テ一  
月末ヲ以テ總會ヲ開催スルノ運トナレリ  
然ルニ先之勞農總同盟會側ハ反對派ニ對スル對  
策及當局ノ峻嚴ナル取締ヲ避クル目的ヲ以テ從  
來ノ中央集權主義ヲ捨テ新ニ地方分權主義ヲ採  
リ地方的運動ニ依ル方針ヲ執リ其ノ反對運動ハ

如キニ表面何等爲ス處ナキカ如ク装ヒ及面大ニ  
暗中飛躍ヲ試ミ本年一月十日ヨリ同十四日迄四  
日間慶尚南道晋州ニ於テ同志團體ヲシテ慶南勞  
農運動者懇親會ハ別紙第二號ニ開催セシメ最  
後ニ朝鮮勞農團體九十三ヶ團體ヲ以テ組織スル  
朝鮮勞農同盟會發起總會ナルモノヲ發起シ事務  
所ヲ大邱勞働共濟會内ニ決定スルト共ニ二月二  
十九日創立總會ヲ開催スルコトヲ決議シ以テ一  
月三十日三十一日開會ノ勞農大會準備會ハ別紙  
第三號ニ對スル反對運動ヲ試ミタルヨリ勞農  
大會側ニ於テモ總會終了後會員ヲ朝鮮方面ニ派  
シ朝鮮勞農同盟會ヲ不成功ニ終ラシムヘク反對

運動ニ着手<sup>シテ</sup>今後兩派ノ運動ハ益紛糾ヲ重スルニ  
至ルヘシ  
因ニソウル青年會、北星會及朝鮮青年聯合會系ニ  
屬スル重ナル團體及氏名ヲ示セハ左ノ如シ

左記

ソウル青年會及北星會ニ屬スル重ナル  
團體及幹部氏名

一、ソウル青年會系（共產主義）

ソウル青年會（京城）

李英 韓鎮教 張彩極 金榮萬

任鳳淳

北星會晚會派（京城）

張日煥（赤波） 李廷元 崔昌益

民衆社（京城）

朱鍾健 崔昌益 鄭栢 李星泰

勞働共濟會（京城）

車今奉

群山勞働聯盟會（群山）

趙容寬

勞農大會（京城）

張日煥 姜宅鎮 李時琬 李英

韓鎮教

二、北星會系（共產主義）

北星會（東京）

金若水(且下監中) 金鐘範 鄭雲海

宋奉瑀 白武

勞働聯盟會(京城)

金商震 尹德炳 申伯雨 金鴻爵

土曜會(京城)

陳昌浩 辛容樸 玄七鍾 李浩

無產者同盟會(京城)

李準泰 金達鉉

女子苦學生相助會(京城)

鄭鍾鳴 裒妙媛

新思想研究會(京城)

洪性憲 朴一秉

光州勞働共濟會(光州)

徐廷禧

大邱勞働共濟會(大邱)

鄭雲海

釜山勞働同盟會(釜山)

金鐘範

晋州勞働共濟會(晋州)

趙佑濟

南鮮勞農同盟會(大邱)

金鐘範 鄭雲海 徐廷禧 趙佑濟

勞農總同盟會(京城)

尹德炳 申伯雨 金鴻爵 徐廷禧 趙佑濟

三、附朝鮮青年聯合會系（民族主義）

朝鮮青年聯合會（京城）  
金詰壽 鄭魯湜 朴連杓

民立大學期成會（京城）  
俞鎮泰 姜仁沃

朝鮮教育協會（京城）  
俞鎮泰 朴一秉 李時琬

民友會（京城）  
李得年 薛泰熙

朝鮮物產獎勵會（京城）  
俞星濬 李鍾麟

土產愛用婦人會（京城）  
洪玉御 朴英子

東亞日報社（京城）  
宋鎮禹 張德秀

第一號

別紙

勞農大會加盟團體一覽表

團體所在地	團體名	備考
益山北道益山郡	益山小作人相助會	十月二十日申込
咸悅面	咸悅勞働組合	十一月十九日申込
高敞邑內	高敞小作人相助會	〃
井邑面井邑郡	三郡小作人相助會	十二月十四日申込
益山面益山郡	裡里自成組合	十二月五日申込
永同面永同郡	永同勞農同盟會	同 右
慶善面慶善郡	豐基小作組合	十二月十日申込
咸北面咸北郡	勞働共濟會	同 右
平壤面平壤郡	勞働大會平壤支會同	同 右

乃





咸鏡北道	咸鏡北道	清津労働共済會	
平壤府	平壤府	洋襪職工組合	
全羅南道務安	全羅南道務安	岩茶小作人會	
京城府	京城府	自由労働組合	
慶尚南道昌原	慶尚南道昌原	南面労働消費組合	
全羅南道宝城	全羅南道宝城	慈橋農民大會	
江原道高城	江原道高城	宣城農民會	
慶尚南道昌原	慶尚南道昌原	南面小作會	
平壤府	平壤府	水口労働組合	
同	同	鎮海労働會	
慶尚南道慶州	慶尚南道慶州	甘浦労働共済會	
全羅南道	全羅南道	沃渭小作補助會	

第二號

慶南勞農運動者懇親會及南鮮勞農同盟會  
發起ノ狀況

北星會系ノ金鍾範鄭雲海等ハ客年九月中齊多共  
産黨ヨリ主義宣傳及機關設置ノ爲鮮内ニ派遣セ  
ラレタル疑アル辛容棋金炳七(以上京城)張斗建等  
ト連絡シ勞農大會準備會ノ運動ヲ妨害シ併セテ  
勞農總同盟會側ノ勢力ヲ扶植スル目的ヲ以テ晉  
州労働共済會釜山労働同盟會及馬山勞農同友會  
ノ三團體主催ノ下ニ參加團體三十三出席人員五  
十六名ニテ一月十日ヨリ向フ四日間慶尚南道晉  
州ニ於テ慶南勞農運動者懇親會ヲ開催シ労働問  
題小作問題其ノ他各般ノ社會問題ヲ決議シ最終

日ニ南鮮勞農同盟會創立發起ノ決議ヲ爲シタル  
カ其ノ狀況左ノ如シ

左記

第一日(二月十日)

參加團體名及出席人名ハ末尾添付  
主催團體タル晋州勞働共濟會馬山勞農同友會  
及釜山勞働同盟會ヨリ各金十五圓苑計四十五  
圓ヲ醵出シ午後九時ヨリ晋州平安洞料亭慶南  
館ニ於テ出席者ノ懇親會ヲ開催シ左ノ如ク席  
上晋州勞働共濟會委員趙佑濟ノ開會ノ辭ニ對  
シ答辭及希望演說アリテ宴會ニ移リ午後十一  
時三十分無事散會セリ

一開會ノ辭 晋州勞働共濟會委員 趙佑濟

大正十二年ハ我カ勞農運動者ニ取り實ニ波  
瀾曲折多キ歲ナリシカ本年ハ喜ハシキ新年  
ヲ向フルト共ニ同一戰線ニアル吾等ハ一致  
團結シテ意義アル運動ヲ爲スヘク茲ニ本道  
内ニ於ケル勞農運動者ノ懇親會ヲ催シタル  
次第ナリ云々

二答辭

金海第四會代表 安孝駒

吾人カ此ノ運動ヲ爲スハ畢竟不合理ナル社  
會ヨリ脱シ合理的ナル社會ニ生活ヲ求ムトス  
ルモノシテ最適切ナル運動ナリ然ルニ其ノ效果  
ノ擧ラサルハ「ブルジョア」階級ノ力強キカ爲

ナリ故ニ吾人無産大衆ハ速ニ團結シ其處ニ  
大ナル力ヲ得ハ必ス勝利ヲ博シ吾等ノ目的  
ヲ達スルコトヲ得ヘシ云々

三希望 光州小作人聯合會代表 徐廷禧

本席ニ出席セラレタル諸氏ハ本道内ニ於  
ケル八十餘萬ノ無産者ヲ代表スル人々ナ  
リ今後益陣容ヲ整ヘ以テ同一戰線ニ立タ  
レムコトヲ希望ス云々

第二日(二月十日)

午後三時ヨリ同六時迄晋州飛鳳洞晋州青年會  
館ニ於テ懇談會ヲ開會金山勞農同盟會代表金  
鍾範ノ開會ノ辭ニ亞キ役員選舉祝電朗讀參加

團體ノ狀況報告及討議事項ヲ決議シタル後午

後九時ヨリ晋州衡平本社ノ招宴ニ列席セリ

一開會ノ辭 釜山勞働同盟會代表 金鍾範

晋州勞働共濟會外ニケ團體ニテ本懇親會ヲ  
發起シタル處豫想以上ノ參席者ヲ見將來運  
動上好材料ヲ得タルハ最モ喜フ所ナリ此ノ  
動機ハ客年末主催團體代表者等協議ノ結果  
將來ニ於ケル勞働運動ノ方針ヲ協議スル目  
的ヲ以テ發起シタルモノナルカ發起當時三  
南勞農運動者懇親會ヲ發起スル豫定ナリシ  
モ餘暇ナキ爲慶南勞農運動者懇親會ヲ發起  
シ京城大邱光州ニ於ケル勞働團體ニハ案内

狀ヲ發シ出席方ヲ乞ヒタル次第ナリ

二、役員選舉

議長ニ金鍾範書記ニ崔昌燮朴台弘當選セリ

三、祝電朗讀

祝 勇 進

順天勞働青年會

祝組織的團結

京城勞働聯盟會

望統一徹底

順天青年會

祝懇親會

金海 裴基順

充分ニ創立ヲ

東京朝鮮勞働聯盟會

祝勞働懇親會

京城新思想研究會

充分ニ創立ヲ

群山勞働青年會

同

昌原青年會

同

李

洪

全部統一

順天勞働聯盟會

四、參加團體狀況報告

省 略

五、討議事項(第四日ニ記載ス)

第三日(二月十二日)

午前十一時ヨリ午後六時四十分迄晋州青年會

ニ於テ慶南勞農運動者代表者會ヲ開催役員ノ

選舉及討議事項ノ決議ヲ爲シ午後九時ヨリ同

十一時迄晋州青年會館ニ於テ晋州勞働共濟會

代表趙佑濟司會ノ下ニ講演會ヲ開催セリ

一、役員選舉



議長ニ金鐘範書記ニ姜致烈朴台弘當選セリ

二、會員ノ權限

本會ハ代表者ナルモ参列者全部權及決議權ヲ與フ

三、討議事項決議(第四日ニ記載ス)

四、講演會

イ、聴衆約四百名(有識階級六十名、學生約百名、其ノ他約二百四十名)

ロ、聴衆ノ感想 聴衆ハ大部分下級勞働者ニ

シテ講演ノ意義ヲ解スル者少ク從テ大ニ

ル感動ヲ與ヘサリシモノノ如シ

ハ、演題及演士

(1) 無産者ト現代教育

安孝 駒

現社會制度ノ下ニアリテハ有産階級ハ自由ニ中學校、大學校ニ入學スルコトヲ得ルモ無産階級者ハ資金ナキ爲教育ヲ受クル能ハス單リ教育ノミナラス總テニ於テ然リ故ニ吾々無産大衆ハ團結シテ少数有産階級ニ對抗スルニアラサレハ他ニ生クヘキ途ナシ云々

(2) 小作運動ト青年

鄭雲海

資本主義的社會ハ上古時代ニハ曾テ之ヲ見サリシモノニシテ近世ニ至リ始メテ顕ハレタル忌ムヘキ現象ナレハ將來必ス其ノ影ヲ滅スルニ至ルヘシ翻テ朝

鮮ノ現状ヲ見ルニ朝鮮農業國ニシテ小作人ノ朝鮮ナリ小作人ナケレハ朝鮮モ有産階級モ無キ筈ナリ然ラハ小作人ハ實ニ有産階級ノ主人公タル地位ニアルモノト謂ハサルヘカラス然ルニ此ノ尊キ小作人ハ世界ニ於ケル労働者中最モ悲惨ナル境遇ニアリ此ノ悲境ヨリ脱スヘキ唯一ノ途ハ一致團結シテ地主ニ對抗スル外途ナキナリ云々

(3) 新女性ノ見タル現社會 鄭鍾鳴

(4) 無事省略 徐廷禧

自分カ光州ヨリ當地ニ来ル途中或ル高キ山ヲ越ヘ来リタルカ如何ナル高山ト雖如此一步一步踏破シテ始メテ之ヲ越エルトトヲ得ルト同様峻嶮ナル高山ノ如キ地主ノ勢力モ小作人ノ一致團結ニ依リ一步一步踏破シ行カハ遂ニ希望ノ絶頂ニ達スルトトヲ得ヘシ宜シク我カ小作人ハ奮闘セヨ云々

(5) 階級運動ノ意義 金鍾範

現社會ノ法律其ノ他總テノ制度ハ無産者ヲ保護スル爲ニ作ラレタルモノニアラスシテ有産者ノ爲ニ設ケラレタルモ

ノナリ、サレハ有産者ハ益向上スルニ及  
シ無産者ハ愈悲境ニ陥リツツアリ吾等  
無産者ハ此ノ問題ヲ解決スル爲ニ勇敢  
ニ戦線ニ立ツヘキ覺悟ナカルヘカラズ  
云々

第四日(二月十三日)

午前十時ヨリ午後一時迄晋州青年會館ニ於テ  
代表者會ヲ開會役員選舉ノ後前日ニ引續キ討  
議事項ヲ決議シ終ツテ午後一時ヨリ更ニ南鮮  
勞農同盟會創立發起ノ決議ヲ爲シ午後四時終  
了ト共ニ慶南勞農運動者代表會ヲ解散セリ  
一 役員ノ選舉

議長ニ呂炳燮書記ニ金鍾範姜致烈朴台弘當  
選セリ

二 討議事項ノ決議(第二第三及第四日ニ  
亘リ決議シタル事項)

(1) 勞働問題

イ 各地方勞働狀況調査ノ件

決議 各團體ハ其ノ地方ニ於テ勞働ノ種

類勞銀勞働者ノ生活狀態其ノ他ヲ調査

スルコト

ロ 各地方ニ勞働團體組織ノ件

決議 最初ハ小作人及勞働者聯合シテ勞

働團體ヲ組織シ小作人ヲ利用シテ基本

金ヲ積立テシメタル後ハ小作人ヲ脱退

7



セシメ純然タル労働者ノミヲ以テ之ヲ  
維持シ進ムテ中産階級ノ加入ヲ許ササ  
ル労働団体ノ組織ニ努ムルコト  
ハ労働運動ノ根本精神ニ背馳セル既存勞  
働団体ニ関スル件  
決議 既存労働団体中ニハ中産階級加入  
シ無産労働者ノ賃金ヲ制限セムトスル  
団体アリ之等ニ對シテハ其ノ内部ヲ變  
更改善スルカ若ハ之ヲ破壊スルコト  
ニ労働者教養ノ件  
決議 労働者ノ階級的識義ヲ喚起スル爲  
諺文パンフレット又ハリコフレットヲ發行講讀

(2) 小作問題

セシムルコト及労働夜學會ヲ設クル爲  
夜學會教員ノ養成機關ヲ設クルコト  
イ、各地方小作運動ノ状況調査ノ件  
決議 及動勢力ノ助長者官憲ノ態度耕作  
地ノ坪数及一斗落ニ對スル一ケ年間ノ  
農費(上中下區分)等ノ調査ヲ爲スコト  
ロ、小作団体組織ノ件  
決議 面ヲ單位ニ小作団体ヲ組織シ中央  
地点ニ聯合機關ヲ設クルコト  
ハ、小作運動ノ根本精神ニ背馳スル既存小  
作組合ニ関スル件

決議 其ノ内容ヲ改善スルカ若ハ之ヲ破  
壊スルコト

ニ小作條件決定ノ件

決議 a 小作権ノ保障、小作人ハ一致團

結シテ地主ニ對抗スルコト

イ 小作料分配 地主ノ所得ハ重要

作物ニ限リ四割以内ニスルコト

ロ 地稅及公課 地主ノ負擔トスル

コト

ニ 小作料運搬 一里以内ハ小作人

ニ於テ負擔シ一里以上ニ直ルトキ

ハ相當ノ賃金ヲ取ルコト

e 地主ノ要求スル無理ナル契約ニ

ハ應セサルコト

ホ 小作人教育ノ件

決議 勞働者ノ教養ニ準スルコト 特ニ團

結的觀念ヲ鼓吹スルコト

ヘ 農業改良費ノ件

決議 農事改良費ハ一切ニ地主ニ負擔セ

シムルコト

ト 小作人副業ニ関スル件

決議 手工養蚕及畜産等ヲ奨励スルコト

チ 小作人ノ生産及消費組合ノ件

決議 小作人ハ生産ニ留意シ不正商人ニ

欺網セラレサル様消費組合ヲ組織スル  
コト

リ、農村雇傭人ニ関スル件

決議 保留

又、郡農會ニ對スル件

決議 郡農會ハ小作人ノ利益ヲ本位トス

ルコト若地主ヲ擁護スル農會アラハ之

ヲ認メサルコト

ル、勞農良ノ相互關係ニ對スル件

決議 勞農良ハ互ニ相援助シ勞働運動ノ

目的ヲ達スルニ努ムルコト

又、東洋拓殖會社ニ関スル件

討議 東洋拓殖會社ノ土地ハ慶尚南道ニ

十二万七百七十七町步全鮮ニ亘リ九百

九十九万四千四百八十四町步ヲ有スルモ移

民ノ小作スルモノハ僅ニ九十八万四千

町步ニ過キス其ノ他ハ全部鮮人ニ二重

小作ヲ為サシムルモノナリ而シテ日本

人ハ十年間小作セハ土地ハ自己ノ所有

ニ歸スルモ鮮人ハ然ラズ移民制度ハ日

本人ノ利益幸福ヲ企圖セムトスル政治

的色彩ヲ帯ヒ居ルモノナルヲ以テ最モ

考慮スヘキ問題ナリ(崔昌益)

同 日本カ朝鮮ヲ統治スルニ至レル根本

精神ハ朝鮮人ノ幸福ヲ計ル爲ナリト標榜シ居ルニ付鮮人ノ幸福ヲ阻害スル移民制度ハ之ヲ廢止スル様當局ニ交渉シ若目的ヲ達セサルニ於テハ宜シク世界ノ輿論ニ訴フル必要アリ

決議

一 移民制度ノ撤廢方ヲ當局ニ要求スル

コト

(二) 弊害多キ農監制度ヲ廢止セシムルコト

(三) 二重小作ヲ廢止スルコト

(3) 青年問題

1. 新興青年團體組織ノ件

決議 青年團體ノ組織ナキ地方ニ於テハ無

産青年運動ヲ爲スヘキ新興青年團體ヲ組

織スルコト

只現存青年團體ニ関スル件

決議 ブルジョア階級ニ依リ組織セラレタル

現存青年團體ニ對シテハ其ノ方面ヲ轉換

セシムルカ又ハ之ヲ破壞スルコト

ハ新興青年教養ノ件

決議 勞働者及小作人教養方法ニ準スルコト

ニ新興青年團體ノ事業ニ對スル件

決議 解放運動ニ對シ先馳ノ任ニ當ルコト

(4) 新興女性問題

新興女子團體組織ノ件

決議 覺醒セル女性ヲシテ各自其ノ地方ニ

於テ團體ヲ組織シ労働運動ニ接近セシム

ルコト

新興女子教育ニ関スル件

決議 衛生觀念ヲ助長セシムルコト

同 宗教及迷信的觀念ヲ打破スルコト

同 女性ヲシテ人権的立場及經濟的方面

ヨリ自覺ヲ促進セシムルコト

(5) 衡平運動ト労働運動トノ關係問題

決議 衡平運動及労働運動ハ同一階級ノ運

動ナルヲ以テ相互握手スルコト

同 労働運動者ハ可及的直接ノ干涉ヲ避

クルコト

同 労働運動者ヲシテ衡平運動ニ対スル

誤解ヲ理解セシムルコト

(6) 日本在留朝鮮労働者被殺問題

決議 東京北星會ヨリノ通信ニ依レハ震災

當時東京ニ於テ支那人朝鮮人並日本人労働者

カ殺害セラレタル事件ニ就キ國境ナ

キ無産労働者ノ立場トシテ國內労働運動

者及支那人協力シテ日本政府ニ抗議書ヲ

呈出スル豫定ナリト尚又遺族ニ対スル弔

慰金ヲ募集スルト共ニ講演會ヲ開催スヘ

ク各團體ニ交渉中ナリ(金鍾範)

決議 本會ハ日本政府ニ抗議書ヲ提出セム  
トスル團體ニ無條件参加シ其ノ行動ヲ援

助スルコト

(7) 聯合巡回講演團組織ノ件

決議 朝鮮労農同盟會成立迄見合スコト

(8) 東亞日報問題ニ関スル件

討議 東亞日報ハ毎日申報京城日報ト同シ

ク有産階級ノ機關紙ニシテ尙モ民族運動

ニ有益ナル記事ナク却テ其ノ運動ヲ妨害

スルコト往々アリ尚同紙ハ在外同胞慰問

金三萬餘円ヲ以テ記者張德秀ヲ派遣シ又

客年九月関東地方震災當時記者李相協ヲ

東京ニ派シ諷慰問金中ヨリ二千五百圓ヲ

費消セル等却テ社會ニ害毒ヲ及ホスヘキ

行爲ヲナシ居ルニ付其ノ責ヲ問フト共ニ

撲滅策ヲ講スルノ要アリ(金鍾範)

決議 民衆運動ノ報道ニ対シ偏頗ナル態度

ヲ問責スルコト

全 在外鮮人慰問金不當處理ニ対シ質問

シタル後対策ヲ決定スルコト

全 前二項今回組織セラルヘキ朝鮮労農

同盟會ニ一任シ實行セシムルコト

(9) 全朝鮮労農運動ノ局面ニ対スル件

討議 目下京城ニ於テハ労働聯盟會労働総同盟會等ノ団体アルモ同団体ハ在外団体又ハ地方団体ヲ背景トシ徒ニ抗爭ヲ事トシ居ル団体ニ付本會參加団体中京城ニ於ケル右団体ト關係アルモノハ此ノ際關係ヲ絶テ其ノ旨ヲ宣言シ朝鮮労働農團體ノ結束ヲ固ムルノ要アリ(金鍾範徐廷禧崔昌燮)決議 労働聯盟會労働総同盟會及労働大會ノ三団体ハ何レモ個人ノ野心ヲ満足セシムル爲徒ニ分派鬭爭ヲ爲シ居ルモノニ付統一團結スル迄ハ本會參加団体中右三団体ト特殊關係ヲ有スルモノハ今後絶対ニ

關係ヲ絶テ其ノ旨宣言スルコト

晋州 光州 順天 釜山 河東郡北川及同郡赤良ノ各団体代表者ハ關係ヲ絶ツ旨宣言シタルモ

進永労働共濟會及鎮海小作會ハ宣言セズ本會ヨリ脱退セリ

### 三、朝鮮労働同盟會發起準備會組織

役員ノ選挙  
議長ニ徐廷禧(光州小作人聯合會執行委員長)  
書記ニ姜致烈、朴台弘當選セリ  
口、朝鮮労働同盟會發起団体  
全羅南道及慶尚南北道ニ現存スル九十三



ケ団体ヲ以テ發起団体トスルコト  
ハ本同盟會ニ参加スル団体ノ資格

思想團體、青年團體、其他團體ノ名稱如何  
ニ不拘事實ニ於テ勞農運動ニ携ハル団体  
ハ参加スルノ資格ヲ有ス

二、綱領及規則制定、起草委員選定  
一、起草委員 金鍾範、徐廷禧、鄭雲海、  
李昌洙、趙佑濟

二、起草委員ハ綱領及規則ヲ起草シ第二回  
發起總會ニ提出スルコト

三、第二回發起總會ハ創立總會ノ前日トス  
ルコト

ホ、準備委員選定

一、準備委員 金鍾範、徐廷禧、鄭雲海、  
崔元澤、金基洙、趙佑濟

二、準備委員ハ創立總會ニ對スル一切事務  
ノ外忠清南北道ニ於ケル勞農團體ノ参  
加方ヲ勸誘スルコト

ヘ、創立總會開催

大正十三年二月二十九日大邱ニ於テ開催  
スルコト

慶南勞農運動者新年懇親會出席人名

會名 所在地 會員數 代表者氏名  
河東青年會 河東邑内 八八 李元烈



三嘉勞働友愛會  
 金海第四會  
 北内勞働團  
 金海女子青年會  
 金海東井勞農團  
 南陽勞働相助會  
 固城小作人相助會  
 陝川勞働會  
 龜山小作組合  
 三鎮勞働共濟會  
 馬山勞農同友會

三嘉面錦里  
 金海郡金海  
 同  
 同  
 同 東上洞  
 泗郡南陽面  
 固城郡城内洞  
 陝川郡邑内  
 昌原郡龜山面  
 縣洞里  
 金郡鎮面智山  
 馬山府石町

二〇〇  
 一三〇  
 一〇〇  
 七〇  
 六二  
 六二〇  
 二五〇  
 八〇  
 二八〇  
 二八〇  
 二〇〇  
 孫金李權金朴金朴李金禹印崔  
 紋琪廷明泰琪滿化琮弼莫東孝昌  
 政鎬贊奎容顯權七實園愛壽鶴變哲

馬山慧星會  
 咸餘勞農相助會  
 光州勞働共濟會  
 光州小作人聯合會  
 光州勞働共濟會  
 自働車運轉手組合  
 大邱尚微會  
 大邱勞働共濟會  
 泗川勞農大同會  
 釜山勞働同盟會  
 統營勞働共濟會  
 進永勞働共濟會  
 辰橋勞働會

馬山府石町  
 咸安郡外岩里  
 金南光州郡邑内  
 全  
 全  
 大邱府南山町  
 大邱府  
 泗川邑内  
 釜山府益州洞  
 統營大和町  
 進永  
 河東郡辰橋

二〇  
 三一五  
 八二〇  
 九八〇  
 五五  
 一五  
 一八  
 一六  
 二〇  
 六三  
 八五  
 二〇  
 朴姜鉞白金崔金鄭崔申尊徐朴金  
 柱大泰基光鍾漢宏雲元東南廷鉉焯  
 振洪宰樺欽範武魯海澤洪模禧植斗海

鎮海勞勸會

鎮海慶和洞

一〇〇

鎮海小作會

全

七〇〇

順天農民大會聯合會

順天

邑內 一四五〇

順天勞勸大會

全

二七〇

順天鮮農民間聯合會

全

三〇〇

固城下面作相助會

固城下二洞

金泉青年會

金泉邑內

巨濟青年會

巨濟面

晉州勞勸共濟會

晉州郡飛鳳洞

二三〇〇

高	林	姜	朴	姜	金	趙	朴	金	林	李	鄭	林	金	李	金	洪	禹
景	英	大	台	致	在	佐	魯	鍾	景	周	李	柱	承	昌	基	鍾	懿
仁	煥	昌	弘	然	泓	濟	臣	善	淳	宇	爽	春	淑	洙	洙	健	植
																龍	

個人參加

河東邑內

趙東赫

金基完

鄭成鎬

昌原邑內

安 浚

陝川郡草溪面 鄭元祚

勞農大會主催團體總會ノ狀況

ソウル青年會系ニ屬スル勞農大會主催團體總會  
ハ豫定ノ如ク一月三十日三十一日ノ兩日ニ互リ  
京城ニ於テ開催シタルカ反對派タル北星會系ニ  
屬スル勞農總同盟會並同會別働機關ノ觀アル慶  
南勞農運動者懇親會ノ反對運動大ニ効ヲ奏シ當  
日參席シタル者京城十一名地方八名計十九名ノ  
少數ニテ開會中氣勢更ニ擧ラス僅ニ不振ノ裡ニ  
日程ヲ經過セリ其ノ狀況左ノ如シ  
一全朝鮮勞農大會後援會組織

本總會開催前幹部張赤波姜宅鎮崔昌益及李時  
琬等ハ北星會系ノ反對運動ニ依リ總會ノ形勢

漸ク非ナルヲ着取シタルヲ以テ開會數日前形勢挽回並趣旨宣傳ノ目的ニテ府内官私立各専門學校學生其他一般青年ヲ説キテ後援會ヲ組織セシメ一月二十七日府内雲泥洞一一一番地ニ於テ創立總會ヲ開催シ會員三十名ヲ以テ講演會及音樂會等ニ依リ勞農大會ノ爲大ニ氣勢ヲ添ヘムコトヲ決議シタルモ演題其他不穩當ノ莫アリ所轄鐘路警察署ニ於テ治安ヲ害スル虞アルモノト認メ之ヲ禁止シタル爲折角ノ後援會モ全ク画餅ニ飯シ何等爲ス處ナクシテ終リ一時後援會員タルコトヲ承認シタル學生等モ學校側ノ注意ニ依リ今マ殆ント脱退スルニ

至レリ

### 一、會議ノ場所及狀況

一月三十日朝鮮女子講習院ニ於テ開會ハ正午

一、代表者資格審査報告

準備會員姜宅鎮ヨリ出席代表者ノ資格各其會ノ委任状ニ依リ確實ナルコトヲ報告セリ

又、出席者點名

出席者十九名ニシテ其中數個團體ノ委任ヲ受ケタルモノアル爲主催團體四十二ノ中三十一個團體出席シタル形式ナリ

又、議長及書記選舉ニ関スル件

張俊趙容寬李丙儀ノ三名ヲ議長候補者ニ推選シ投票ノ結果趙容寬當選セリ

書記ハ議長ノ指命ニ依リ李炳儀ヲ選ハリ

4、委任權行使ニ関スル件

行使スルモ可決權ニ就キテハ一人一票ノミトセリ

5、準備會經過報告ノ件

準備會員姜宅鎮創立以來ノ經過ヲ報告シタルカ別ニ重要ナル事項ナリシモ組織ニ就キ準備會員張日煥李時琬崔昌益姜宅鎮ノ四名警察ニ檢舉セラレ暫ク鐵窓ニ苦ミタルモ不起訴トナリ放免セラレタルヲ以テ特大聲

ニテ告ケタリ

經費ハ總收八十四圓二十八錢ニシテ張日煥鄭栢姜宅鎮其他ノ寄贈ニ依ル參加團體審査ノ結果小作人相助會三個所ヲ拒絕シタル旨ノ報告ニ對シ其理由ノ質問起リタルカ審査員姜宅鎮ハ小作人相助會ハ真ノ小作人ニテ組織セララルニアラスシテ非小作人ニ於テ組織セララルハナリト答ヘタリ

6、事務引継ニ関スル件

新役員選舉ノ上其役員ニ於テ引継ヲ受クルコト

7、大會召集機關組織ニ関スル件

意見百出容易ニ纏ラス或ハ京城ニ或ハ地方  
ニ設置スヘク主張シタルカ結局京城ニ中央  
部地方ニ地方部ヲ置クコトニ決定セリ  
午後三時休會午後四時再會  
機関設置ニ就キ具体的決議スヘク協議セシ  
モ經費其他地理ノ關係上協議纏ラス午後六  
時懇親會ヲ開キテ下打合ヲナシ翌日ノ會議  
ニ讓ルコトトセリ

〇休會午後五時  
十一月三十一日朝鮮教育協會ニ於テ  
開會ハ續會ニ正午十二時  
人大會召集機關組織ニ關スル件

先當分京城ニ中央部ノミヲ置キ地方部ハ將  
来必要ニ應シテ設置スルコトニ決定セリ

又委員選舉ニ關スル件

常務委員十名ヲ置キ各具團體所在地ニ在リ

テ事務ニ從事ス

- 京畿道三人 京城勞働大會代表 仁川郡城勞農
- 慶尚南北二人 崇川豐基小作組合代表
- 全羅南北二人 務安岩茶小作會代表
- 忠清南北一人 永同勞農同盟會代表
- 平安南北一人 平壤朝鮮勞農同盟平壤本部
- 咸鏡南北一人 清津勞働共濟會

又經費ニ關スル件



大會召集準備中及大會開催終了マテノ経費  
トシテ六百円ヲ見積リ（宣傳文趣旨書會録  
等印刷費及大會開催費並通信費其他一其出  
所ニ就キテハ主催団体ハ五日以上宛ヲ負担  
シ加入団体ハ三日以上宛ノ加入金ヲ徴收ス  
ルコトトセリ

大會館ノ位置ニ関スル件

京城ニ置クコトトシ其他事項ニ就テハ委員  
ニ一任セリ

大會召集期日及場所ニ関スル件

本年四月五日大會ヲ開催スルコトトシ其他  
ノ事項ニ就キテハ委員ニ一任セリ尚召集後

関ノ名称ニ就キ討議ノ結果朝鮮労働大會準  
備委員會ト決定セリ

午後二時十分休會午後三時再會

大會討議問題範圍ニ関スル件

各代表ノ提案ニ就キ約ニ時間餘ニ互リ討議  
ノ結果別紙ノ如キ案ヲ作成シタルカ其討議  
間ニ於ケル場内ノ空氣ハ一変シ大ニ緊張味  
ヲ帯ビタルカ言論ノ總テハ現社會制度ノ不  
合理ヲ叫ビ地主資本家ノ横暴ヲ唱フルニ皈  
一シタルカ岩倉小作人組合代表張竣労働共  
済會代表車今奉等ハ其ノ最モ猛烈ナルモノ  
ニシテ車今奉ハ郡農會ニ就キ郡当局ハ農民

ノ事情モ察セス。彼ニ獎勵クテ唱へ忍ビ得、  
カラサル過金ノ負担ヲ爲サシムルノミニシ  
テ何等得ル所ナシ之ニ対スル吾等ノ對抗策  
ヲ立テサルヘカラスト爲シ徐邵哲ハ吾等無  
産労働者ニハ生産組合消費組合農事改良農  
村副業等獎勵スル必要ナシ此等ハブルジョ  
ア階級ノ口ニスルコトニシテ吾等ノ今日叫  
ブ如ハ改良副業等ヲ爲サスシテ能ク生キ得  
ヘキモノタルコトナリ云々ト暴語セリ

7、其他事項

(1) 鎮海小作争議ハ一般ノ既ニ知ル所ナルカ  
餘ヲ経テ今日尚其ノ解決ヲ見サルハ遺憾

トスル如ニシテ吾等ハ之ニ対シ何等カ採  
ルヘキ所ナカルヘカラスト提案シタルニ  
対シ委員ニ一任スヘク決定シ

(2) 慶南労働運動者親睦會中中傷的行為ヲナ  
シタルモノニ対シテ吾會ハ如何ナル態度  
ヲ取ルヘキカニ就キ討議シタルカ其要莫  
ハ同會ニテフ在京団体トハ關係ヲ結ハス  
シ云々ト決議シタルハ横暴ナリトスルニ  
アリ之ニ対シ別紙ノ如キ聲明文ヲ作成シ  
新聞紙上ニ掲載スルコトニ決定セリ

10、開會午後六時

一、朝鮮労働總同盟側ノ攪乱ト労働大會側ノ對抗



策

前記ノ如ク形式上總會ヲ終了シタルモ内容見  
夕振ハス出席者僅ニ十九名ニシテ三十一個團  
体ヲ代表シタル形式ヲ執リタルカ出席者モ其  
餘ニ貧弱ナルニ啞然タルモノアリ具ノ因由ヲ  
探查スルニ過般晋州ニ於テ開催セル慶南地方  
労農運動者懇親會及素ル三月五日大邱ニ於テ  
開催ノ豫定ナル南鮮同盟會ノ創立總會ハ労農  
大會ノ反対派タル北星會労働聯盟會一派ノ労  
農總同盟系ニ屬スルモノノ画策ニヨリ労農大  
會ヲシテ不成功ニ終ラシムヘク苦肉ノ計ニ出  
テタルモノナルヲ以テ労農大會側タル張日煥

一派ハ豫テヨリ形勢非ナルヲ見テ此終ニ推移  
セハ大會ノ創立覺束ナシトシ晋州大邱ノ會議  
ニ不平アル進永鎮海等五個團體ヲ煽動シ種々  
中傷ノ上國境ヲモ訛メサル労農團體ニ慶南又  
ハ南鮮去々ト地域ヲ割シテ會合團結スルハ不  
合理ナリトノ理由ノ下ニ断然脱退セシメ大ニ  
總同盟側ノ氣勢ヲ挫キ其勢ニ衆シテ素ル二月  
ニ日全北裡里ニ於テ南鮮ヲ中心トスル中立ハ  
個團體ヲ召集シ労農懇親會ト命名シ成立ノ上  
前記五個ノ脱退團體ヲ加入セシメ是等ヲ全部  
労農大會ノ一員ニ加ヘムトノ腹案ナリシ所京  
城ニ於ケル大會ノ氣勢頓ニ擧ラサリシト一方

早クモ總同盟側タル金鍾範徐廷禧等ハ裡里會  
 今ノ團體ヲモ自派ノ手中ニ收ムハク裡里ニ赴  
 ク由ヲ聞知シ張日煥等ハ事態容易ナラスト為  
 シ群山代表者趙容琬ニ四團體ヲ代表セシメ務  
 安代表者徐郅哲ニ其團體ヲ代表セシメ裡里會  
 合ニ出席セシムルト共ニ同會ヲ確實ニ勞農大  
 會ニ加盟セシムルハク出席者趙徐西名ノ内諾ヲ  
 得タルモ之トテ京城ノ總會ノ貧弱ナリシト金  
 鍾範一派ノ惡宣傳ノ為ノ如何ニ變化スルヤ計  
 ラレスト為シ之カ監視並運動ノ為ニ月一日張  
 日煥韓鎮教李丙儀ノ三名裡里ニ急行セリヲ以  
 テ裡里ニ於テハ多少ノ活動ヲ演スハシト愚料

セラル

一總會出席代表者氏名

所在地	團體名	代表者氏名
永同	永同勞農同盟會	張 竣
榮川	豐基小作組合	金 東 弼
裡里	裡里勞働組合	鄭 栢
高陽	一山小作人組合	右 同
平壤	平壤大會平壤支會	李 翊 柱
京城	勞農大會總本部	李 丙 儀
群山	群山勞働聯盟會	趙 容 琬
同	群山勞働會	同
同	群山精米穀摺共同組合	同

同 同  
鐵運組合 同  
牛車興業組合 同  
京城新聞配達夫組合 姜德照  
平壤大同内労働組合 金聖貞  
岩茶小作人組合 徐部哲  
金物職工組合 黃一成  
平壤洋襪職工組合 崔允鈺  
朝鮮労働聯盟平壤本部 同  
甘浦労働共済會 李英  
遼州 同  
遵城農民會 同  
北青労働組合 同  
自由労働者組合 金成圭  
京城 青 高 慶 同 平 京 務 平 京 同 同

平 仁 京 金 瓮 咸 利 京 同  
壤 川 城 海 津 悅 原 城  
平壤新水口労働組合 李茶根  
仁川郡城労働會 金茶鉉  
朝鮮労働共済會京城本部 車今奉  
進永労働共済會 徐廷夔  
農友相助會 李敬鎬  
咸悅労働組合 鄭相  
郡仙労働組合 金秉濬  
鑰器職工組合 本總會決議ノ通り  
コム職工組合 同 異議ナキトウ申出テタリ

以上三十一個團體  
右出席人員十九名

大會討議事項

勞働問題

- 一、各地勞働運動狀況及調査ニ関スル報告ノ件
- 二、勞働運動ノ根本方針ニ関スル件
- 三、勞働團體組織ニ関スル件
- 四、勞働運動当面ノ諸問題ニ関スル件
- 五、勞働賃金及勞働時間問題ニ対シテ
- 六、衛生及其他ニ対シテ
- 五、勞働者失業ニ関スル件
- 六、婦人及少年勞働者ニ関スル件
- 七、外國人勞働者問題ニ関スル件
- 八、勞働病泊所勞働食堂等其他

九、勞働者保護機關ニ関スル件

一〇、勞働者教育ノ件

小作問題

- 一、各地小作運動狀況及調査ニ関スル報告ノ件
- 二、小作運動ノ根本方針ニ関スル件
- 三、小作団体組織ニ関スル件
- 四、小作権ニ対シテ
- 五、小作料其他小作條件ニ対シテ
- 四、農業勞働者ニ関スル件
- 五、失業農業勞働者ニ関スル件
- 六、其他ニ関スル件
- 八、農村副業ニ対シテ

2、農村改良ニ対シテ  
3、郡農會ニ対シテ

共同討議問題

一、労働運動ト小作運動ノ共同戦線形成ニ関スル件

二、労働運動ト小作運動ノ協同ニ対シテ

三、現下ノ労働及小作運動全局面ニ対シテ

四、出稼労働者ニ関スル件

五、労働青年運動ニ関スル件

六、労働者及貧農ノ生産消費組合ニ関スル件

七、無産婦人問題ニ関スル件

八、民族問題ニ関スル件

九、東拓問題ニ関スル件

一、労働運動ノ祝日又ハ紀念ニ関スル件

二、衡平運動ニ関スル件

三、罷業団体ニ関スル件

四、宗教問題ニ関スル件

五、労働界言論機関設置ニ関スル件

六、労働運動反対ニ対スル對抗策ニ関スル件

七、其他ニ関スル件

聲明書

吾人々朝鮮勞農大會ヲ召集スルニ際シテ朝鮮勞  
働聯盟會ヲ中心トシタル朝鮮勞農總同盟會發起  
會組織カ中止セラレ吾人ト分立スルニ至リタル  
ハ其責吾人ニ無シト雖階級戰線ノ統一ト從テ最  
後ノ勝利ノ爲絶大ナル遺憾事ナレハ吾人ハ微衷  
ヲ盡シテ相互ニ和睦ヲ要スルコトヲ望ム又更ニ  
滿天下ノ同志ニ大同團結ヲ必要トスルコトヲ絶  
叫スルモノナリ然ルニ過般慶南晋州ニ於テ開催  
サレタ慶南勞働運動者懇親會席上ニ於テ京城ニ  
在ル既成又ハ組織中ノ階級的團體トハ一切關係  
ヲ断ツコトヲ標榜シテ朝鮮勞農同盟會ヲ發起ス

又

ルニ至レリトノ報導ニ接シ吾人ハ實ニ驚愕ノ極  
ニ達セリ偉大ナル力ヲ持チタル客体ト當面セ  
吾人カ必勝スルノ要決ハ果シテ何ゾ無産階級ハ  
惟フニ其團結ニ依リテコソ能ク解放ヲ得ハキニ  
今地域ヲ割シテ防塞ヲ建築スルカ如キハ階級戰  
線ヲ分離攪乱セシムル所以ナリト謂ハサレハ力  
ヲス吾人ハ之ヲ深ク遺憾トシ茲ニ當該各團體ノ  
猛省ヲ促ス所ナリ

ア——朝鮮無産者團結セヨ

大正十三年一月三十一日

朝鮮労働大會主催團體